

毛呂山町 文化財散策マップ

滝ノ入・阿諏訪の文化財を訪ねて

毛呂山町を代表する仏教美術、貴重な天然記念物、中世の山城など、豊富な文化財に触れることができます。

また、関東山地と関東平野の接点にあるこの地は“山と平野の里”を満喫することができます。



散策モデルコース（屋外の文化財散策）

いずれも10kmを越す1日コースです。出発点を変えながら自分にあったコースを作って楽しみましょう。

滝ノ入・阿諏訪コース

中央公民館 → 山根城跡の碑 → 妙玄寺(毛呂氏供養塔・川村碩布の墓) → 高福寺(安藤文澤一族の墓) → 房田の馬頭観音 → (滝ノ入集会所休憩) → 猿田彦大神 → かにくさの石仏 → 塩沢の滝 → 金毘羅様のスダジイ → (住吉神社・休憩) → 天満宮 → 龍谷山城(雷電神社・龜守稲荷神社) → 大行寺地藏尊と馬頭観音 → 金塚庚申堂 → 中央公民館

滝ノ入コース（ゆずの里コース）

中央公民館 → 山根城跡の碑 → 妙玄寺(毛呂氏供養塔・川村碩布の墓) → 高福寺(安藤文澤一族の墓) → 房田の馬頭観音 → (滝ノ入集会所休憩) → 猿田彦大神 → かにくさの石仏 → 塩沢の滝 → 桂木観音・休憩 → 桂木のタブノキ林 → この間は景色を満喫しましょう → 入の馬頭観音 → (住吉神社・休憩) → 金毘羅様のスダジイ → 天満宮 → 金塚庚申堂 → 中央公民館

阿諏訪コース

中央公民館 → 出雲伊波比神社 → 金塚庚申堂 → 大行寺地藏尊と馬頭観音 → 龍谷山城跡(雷電神社・龜守稲荷神社) → 安藤文澤生地 → 中山薬師堂 → 獅子ヶ滝 → (帰途・コースを逆に戻る)

桂木寺の仏像 ～木造伝釈迦如来座像～（平安時代・県指定文化財）

桂木寺の本尊。カヤの一本造で、平安時代初期をやや過ぎた、10世紀後半の作と考えられています。県下最古といわれ、関東地方をも代表する貴重な仏像です。

桂木の名は、行基が東国を行脚した時に、大和(奈良県)の葛城山に景観が似ていたことからつけられたといわれています。

桂木のタブノキ林（県指定天然記念物）

タブノキは暖かい地方、とくに西南日本の海岸線に広く分布しています。現在のところ県内唯一のタブノキ林です。



獅子ヶ滝
落差3mほどの滝。
宿谷の滝と並ぶ毛呂
山の美しい滝です。

中山薬師の懸仏（町指定文化財）

阿諏訪の山間にある中山薬師堂には三面の懸仏が伝わっています。この中の1つは、文明7年(1475)の銘があり、“越大工道通”と刻まれています。越大工とは鳩山町の小用あたりにいた鋳物集団と考えられ地元で作られた懸仏であることがわかります(現在、歴史民俗資料館で保管、展示中)。

龍谷山城跡（県選定重要遺跡）

台地を広く見渡せる龍谷山の山頂に、防御に優れた山城が築かれました。ゴルフ場の開発でわずかな遺構を残すだけとなりましたが、空堀や平場は往時を偲ぶことができます。大永4年(1524)、山内上杉憲房は北条方の毛呂氏を攻撃しました(毛呂合戦)。その時毛呂氏が立てこもった毛呂要害こそ、この龍谷山城ではないかという説もあります。

大行寺地藏尊（町指定文化財）

新川橋の傍らの覆屋に、秩父青石(緑泥片岩)で造られたお地藏様が立っています。明治時代に廃寺になった大行寺にあったもので、県内でも珍しい室町時代の作です。